

名家連ニュース

平成 26 年 1 月 9 日 (木)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場 洋二
TEL/FAX (052) 411-2890 NO. 287 号

重度知的障害者
重複障害者

母親が介護96%

大阪障害児・者
を守る会の調査

調査対象は大阪府内に住む障害児・者 1,620 人。家族と同居する障害者は 87.7%、グループホーム等に住む人は 8.8%。母親が介護する割合は 96.3%で体調不調と回答した人は 97%。障害者児・者の暮らしを支える福祉施策（社会資源）が少ないため、生活介護を担う大半の母親は疲弊しきっている実態が明らかになりました。家族中心の介護（自助）は限界に達しており、障害者や家族の生活実態は、障害者権利条約の目指す水準から大きくかけ離れていることを示しています。



文科省調査一休職者の6割が精神疾患



2012 年度の病気が理由の休職者は 8,341 人。このうち精神疾患による休職は 4,960 人。精神疾患発病時の勤続年数では、約半数が 2 年未満。20 歳代の青年教職員の病気休職に占める精神疾患の割合が 78%に達していることが文科省の調査で明らかになりました。

年収200万円以下の障害者は98.9%

きょうされん「障害のある人の地域生活実態調査」より

国税庁の'10 年民間給与実態統計調査では、一般の人の年収 200 万円以下の方は 22.9%で「ワーキングプア」といわれていますが、障害のある人のほとんどがこの水準です。この年収でなぜ障害のある人の生活が成り立っているかといえば「親依存の生活」です。



【障害のある人の年収と同居者の状況】

年 収	一人	親	きょうだい	GH・CH	入所	合 計
100 万円以下	249	3,196	101	610	729	4,885
125 万円以下	153	1,453	54	478	355	2,493
200 万円以下	261	486	23	262	129	1,171
400 万円以下	18	26	4	12	7	67
未記入	80	466	27	133	105	811

～精神障害者の所得保障は最も低く、この調査内容以下であることは容易に想定されます～